

利用者さんの「ありがとう」がうれしくて

－高齢者布団丸洗い乾燥集配事業で働く会員のみなさん－

7月は雨続きで涼しかったですが、梅雨明けのとたん猛烈な暑さになりました。

夕方、事務局の別室で事務局だよりの折込み作業をしていると、担当地区を一回りした「布団丸洗い乾燥集配」の仕事をしている皆さんが戻って来られました。

汗をふきふき冷たいものをちょっと飲んで一息ついて、それから名簿をもとに1軒ずつ電話で集配の予約を取ってゆきます。

最近ではアポ電詐欺が周知されたこともあり、在宅でもなかなか電話に出てもらえないとのこと。留守電に用件を吹き込み、シルバー人材センターの布団担当者だとわかるとやっと出てもらえることも多いそうです。かつては考えられなかったことですが、電話そのもののありようも近年はずいぶんと様変わりしたのですね。いろいろご苦労はあるようですが、利用者さんの「ありがとう」の言葉がうれしくてとても励みになるそうです。

写真左側のお2人は、荃崎・筑波地区を担当する沼尻好次さんと大越隆男さん、右側は大穂・豊里・谷田部地区を担当する大槻勝巳さんと和泉芳一さんです。

いつも本当にお疲れさまです！



2019年8月9日(金)

【写真と文／事務局だよりのホームページ担当 阿部】